

BSOの 情報てんこもり

2015年 12月24日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆ホーチミン技術師範大学「日本産業教育講座」

ベトナムと日本企業・大学とのコラボレーションによる教育講座が開催されました。11月の講義内容は次の通りです。

1. 日本文化の2つの特徴

- (1) 日本の文化は混合文化
- ・日本のもともとの民族は縄文民族、いまは北海道のアイヌと九州の熊襲にその子孫の形跡がある
 - ・大陸から来た彌生民族が現代日本民族の元祖
 - ・色々なところから渡来した他民族との交流で現在の日本がある
 - ・良いところなどを取り込んで自分たちのものにするのが得手
 - ・独創的なものを創造するのが弱い
- (2) 天災が協働力という日本独特のDNAを形成した
- ・日本は地震・津波などが頻繁に起こる天災の国
 - ・助け合いながら天災から逃れることが身についている
 - ・この助け合いが、集団力組織力となり協働力となった
 - ・GHQの占領政策で、協働力が弱体化していつているがDNAは残っている

2. 「見たくない日本」「不安に思う日本」

- (1) 性悪説化している日本
- ・性善説がベースになっていた日本も、欧米の性悪説に毒されてきている
 - ・ルールや決まりを嫌うが、なければ生きていけない
- (2) 教育が国民をダメにしている
- ・明治・大正・昭和の国民を創った素晴らしい家庭教育・社会教育・学校教育が崩壊している
 - ・寺塾・藩校・しつけなどの教育の何が良かったか、いまの教育の何が悪いのかを再検討せずに教育がなされている

◆自分のリズムに自分の役割を合わせる

仕事には、自分の役割を果たす為の仕事（主担）、自分の果たすべき役割に関係する他の人の仕事に協力する仕事（補佐）、自分の会社の運営で自分の仕事とは関係ないが手伝ってする仕事（協力）の3つがあります。自分の生活などのリズムに、如何に上述の3つの仕事を乗せて果たすかで仕事の出来る・出来ないが決まります。リズムに合わせることが出来ない人は、如何に優秀な人でも結局は仕事の出来ない人ということとなります。

◆マニュアルやルールは最小限にしたい

マニュアルやルールは、時代とともに変化させていかなければなりません。この手間に多くをかけたざるを得ないのは、本末転倒です。やはり理念を基本として、考働の指針や基準は自ら考えるのが望ましいです。

◆ベトナムITミッション

～近畿情報システム産業協議会（KISA）～

11/22～29にKISAメンバー16名がベトナムを視察しました。3回の商談会を行い、2大学と2企業を訪問しました。ホーチミン商工会議所での商談会では、タン会頭も出席されました。会った方々は皆若く、勢いを感じました。

報告書は以下のURLからダウンロードできます。

<http://keisnet.jpn.org/>



◆2016年度日越ビジネス交流大阪大会

VCCI（ホーチミン商工会議所）メンバーが来日しビジネス交流会が開催されます。2016年度の交流会日程は2016年3月25日（金）14時～20時を予定しています。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

◆西村奨学財団留学生交流会に参加

◎日本の産業社会で活躍するのに不可欠なもの

- 1) どんなに専門のレベルがあろうと協働がないと活躍できません
- 2) 自責は日本社会で成長するのに不可欠です。

◎グループディスカッション

- 1) 10ヶ国の50人が国籍を忘れて議論しました
- 2) 日本産業での社会経験を求めています
 - ・財団で傘下留学生のSNSを創ることにしました
 - ・ベトナム人留学生とBSOの連携組織が出来ました

◆喜多猿八のうまいもん食らぶ

11月は「みかん(小原紅早生)」が届きました。「おばらべにわせ」と読み平成5年に品種登録された香川県のオリジナル商品です。国内で生産されているみかんの中で最も紅いみかんです。今回は早生のハウス栽培でない露地ものが届きました。



詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々を知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

